

ガイドブック - 私の里: ジャンベーク

一般情報

ジャンベーク「Zsámbék」はブダペストから南西の方向 30km のところにある。小さいですけど 2009 年に町となった。人口は五千を超えている。面積は 33 平方キロメートルである。ドイツ語でシャムベク「Schambeck」とも呼ばれている。

ジャンベークの名前はジョンベーク「zsombék = 草叢」から来たとも言われているが、ジャンベークと言う家族がそこに住んでたからという説もある。

町は谷にあるから秋の時期に霧が頻繁に発生する。

ブダペストのセーナ広場「Széna-tér」からヴォラーン「Volán」バスに乗るとジャンベークに行ける。パーチ「Páty」方向行きに乗ると早くジャンベークにたどり着ける。ヴォラーンバスは車体が白いのですぐわかる。

車で行く場合だと、高速道路 1 号線 (M1) や国道 1 号線でアプローチすることができる。



歴史

ジャンベークは旧石器時代にはもう人が住んでいたと言われている。1050 年にはここに石の教会が立っていた。ベーラ 3 世はアイナルド(Aynard)家にジャンベークを寄贈した。1220 年頃旧教会の場所に新しいゴシック聖堂が建設された。現在は教会跡となっているが、ハンガリーの大切な建築物である。

モンゴルの侵略時に教会が破壊されたがベーラ 4 世が教会を再建した。14 世紀マローティ (Maróthy) 家がジャンベークを購入した。その後マーチャーシュ (Mátyás) 王様が息子、コルビンヤーノシュ (Corvin János) に寄贈した。1541 年トルコ人はジャンベーク侵攻し、その後 145 年間占領した。この世代からトルコ井が存続してる。そして村はさびれた。



(ジャンベークの葉書)

1689 年、トルコ支配が終わった後、ジチ(Zichy)家がジャンベークを買った。トルコの侵略で人口が少なくなった町にシュヴァーベンが来た。彼らのお蔭で村が急速な発展を始めた。さらに彼らはワイン文化を持って来たので、近くの丘でワイン栽培も始めた。

教会は再度、再建されたが、1763 年の地震でまた崩壊した。その後、もう 1 度建て直された。その後、住民が教会の岩を自分の家やフェンスをつくる時に用いた。そして教会は放置され荒れ果てた。しかし 19 世紀に入り、教会跡が保護されるようになった。2009 年 7 月 1 日に町になった。

有名人

ラツクフィヤーノシュ(Lackfi János)

1971 年にブダペストで生まれた。彼は才能豊かな人であり、詩人、作家、翻訳者、教師、カメラマンなど様々な職業や趣味を持っている。彼の名前は元々オラー(Oláh)だったが、父親の名前と混同しないよう、出版を始めた時に名前をラツクフィに変更した。最初の作品は 1987 年に出版された。1999 年以来、ナジビラーク(Nagyvilág - 大世界)と言う雑誌の編集者もしている。ハンガリー作家協会と JAK (József Attila Kör - ヨージェフアッティラサークル) のメンバーである。現在ジャンベークに住んでいる。



名所

修道院教会 (崩れた教会 : Romtemplom)

13 世紀に立てられた。ジャンベークの一番高い場所となる丘の上にある。そこから美しい景色が見られる。8 月 20 日の催しと大晦日の花火がこの教会の麓で開催されてる。建物は状態はあまりよ



くないが、特定の時間に拝観することができる。



ジチの城 (Zichy-kastély)

昔、ジャンベークの最初の所有者がここに城を立てた。それがジチ家の手に渡った、ジチ家はこの城を長い時間有したので、住人はこの城をジチの城と呼ぶようになった。

1905 年から 2003 年まで学校と学院として使われた。しかし、2003 年に起こった火事のせいで閉鎖された。以来、国定史跡になった。

トルコ井 (Török-kút)

トルコの侵略時代から残っている国定史跡である。本来トルコ人の風呂場だったが損傷して使えなくなった。今では壁の下部と台座のみ残っているが、水は今も出て来る。



ランプ博物館 (Lámpamúzeum)

住所: Magyar 通り 18 番地

営業時間: 月曜日から金曜日まで 10 時-18 時

ヨーロッパで唯一のランプ博物館。1750 年からのランプがそこに収集されている。1200 以上のランプがある。1995 年

にギネスブックに載った。庭にいる美しい孔雀が不思議な雰囲気を作っている。

ウェブサイト:<http://www.zsambek.hu/tart/index/29/1>

女子修道院の庭 (Zárdakert)

1908 年でキリスト教の姉妹のものになった。一つの池と曲がりくねった道を持つ壁に囲まれた庭は彼女達の祈り場所だった、彼女たちはここで癒しの散歩した。2009 年から国定史跡になった。庭で鴨をよく見かける。



ホテル、レストラン

セーピア「Szépia」ホテル 4 スター

住所: Nyárfás 通り 2 番地

値段

部屋の価格:スタンダード部屋 3 万 2500 フォ

夜「朝食+夕食」

ウェルネスチケット:大人一日中 3 万フォリント

部屋は 5 タイプ:スタンダード、スタンダードプラス、スペリオール、快適バイオ、そして障害者用の部屋がある。ホテルで無料の WiFi、空調があり、無料駐車場とレストランもある。

ウェルネスサービスも確保されている。子供連れに優しいホテル「6 歳まで無料」。スポーツ施設でフィットネスルームとボーリング場がある。外に大きなスイミングプール、テニスコート 4 面、小さい草サッカーフィールド 1 面がある。フィンランドサウナもある。

ウェブサイト:<http://www.espahotel.hu/en/>



リント/

山裾レストラン (Hegyalja étterem)

住所: Corvin 通り 1 番地

営業時間: 月曜日から日曜日まで 08 時-20 時

値段

ピザは 1150 フォリントから 1950 フォリントまで

朝食は 850 フォリントから 990 フォリントまで

スープは 690 フォリントから 1050 フォリントまで

温かい飯は 690 フォリントから

ハンガリー料理のセクションがあり、お勧めである。

景色も内装も素晴らしい。基本的にはハンガリー料理が食べられる。そこで部屋を借りることも可能だ。無料駐車場もある。クレジットカードを受け付ける。メニューは英語とハンガリー語がある。

ウェブサイト:<http://hegyaljaetterem.hu/>



カールマーン喫茶店 (Kálmán cukrászda)

Zsámbék, Mányi st 23.

メニューに広い選択肢がある。無糖、グルテンフリー、ラクトースフリーのケーキとアイスクリームを販売する。味は普通だが、殆どが特別な菓子である。一年中に開いてる。クレジットカードで支払うことができる。駐車場もある。サービスは速くて優しい。



歩き方

セントイシュトヴァーン広場でバスから降りてバスの方向と反対に行く。そして最初の角を左に曲がる。真っ直ぐ行くと右側に女子修道院の庭 (Zárdakert)がある。もう少し行って最初の角を右に曲がって真っ直ぐ行くとトルコ井 (Török-kút)に着く。その左にある道を行き、階段を上って Corvin János ロードに着いたら右に曲がる。そして真っ直ぐ行くと修道院教会 (Romtemplom)に着く。バスを降りた場所から女子修道院の庭 (Zárdakert)方向に行くけど、手前の角を左に曲がって、次の角を右にまがって、左、右、右と曲がるとジチの城 (Zichy-kastély)に着く。

